

Anniversary

「安曇野」という財産を、 共に守り、 共に育てることを誓い合う。

2・26 600人が見届ける

2月26日、「安曇野市誕生記念式典」が豊科公民館大ホールで開かれ、総務省、国会議員、地元県議会議員、友好都市の長や近隣市

町村長、関係者、一般参加者など約600人が出席しました。

式典では、市長の式辞、市議会議長のあいさつに続いて、合併に尽力した元・旧の町村長と議長長の16人に総務大臣から市町村合併功労者総務大臣表彰が贈られました。

降雪の中、大勢の皆さんに参加していただきました。



式典の最後には、市内の小中学生代表5人が、「ぼくの夢、わたしの夢」と題した作文の発表を行いました。それぞれの小中学生は安曇野の豊かな自然環境への思いなどをしっかりとした口調で発表しました（詳細4P）。

第2部は記念講演

また、第2部には、アナウンサーの鈴木史朗さんの「鈴木史朗の健康道場〜長寿のコツ〜」と題した講演会が開かれました。鈴木さんはテレビ収録の裏話を交えながら音楽と健康、鈴木さんが実践しているリラククス方法などを話しました。

2.26

Report 安曇野市合併記念式典

安曇野市の誕生を記念し、皆さんとともに喜びを分かち合い、新市の誕生を市内外に発信するため、合併記念式典を2月26日に開催しました。当日の様子とあいさつ・発表の概要をお伝えします。

新しい地域づくりの希望を持って

当日の天気は、あいにくの雪となりましたが、一般参加者をはじめ、多くの参加者が市内外から訪れ、会場は、ほぼ満席となりました。

広報で式典があることを知ったという豊科在住の一般参加の男性は、「歴史的な式典なので興味があり、ぜひ見てみたいと思った。若い人たちが頑張れるような環境づくりがこれから大切になってくると思う。市に対しては、開かれた市政を目指してほしい」と思いを話してくれました。また、地元役員として参加した女性は、「合併してから5カ月経過したが、安曇野市になったという実感はまだない。それぞれの地域の個性を大事にしながらも、思い切ったことをしてほしい」と新市への期待を話してくれました。

時代の大きな節目となる式典が終了し、新しい地域づくりが一步一步進んでいきます。



当日配布されたパンフレット